

日東精工アナリテック株式会社

Nittoseiko Analytech Co., Ltd.

元素レベルの分析・計測技術で環境、エネルギー、健康・快適分野に貢献

自動車のガソリンからスマートフォン、化学品や食品・医薬品に至るまで、製品を出荷する前に必ず行われるのが、品質検査。不純物が規定を超えていないかその判断材料となる成分量を明らかにする、品質管理の“最後の砦”ともいえる分析・計測機器を開発・製造・販売・メンテナンスしているのが、我々日東精工アナリテックです。例えば、ガソリン中の窒素や硫黄の濃度が基準値を超えると排気ガスに多くの有害物質を発生させ、酸性雨の原因になります。特に厳しい規制のある日本では、ガソリンの品質は世界最高水準。当社の元素計によって太鼓判を押された製品だけが世の中で使われています。



カールフィッシャー水分測定装置（水分計）



微量硫黄・窒素同時分析装置

【事業内容】

分析・計測機器等の開発・製造・販売・メンテナンス

【営業品目】

- ・カールフィッシャー水分測定装置（水分計）
- ・自動滴定装置（滴定計）
- ・窒素・硫黄・ハロゲン測定装置（元素計）
- ・自動試料燃焼装置（前処理）
- ・小型蒸留装置
- ・濁度計
- ・フローインジェクション分析装置（FIA）
- ・窒素・タンパク質分析装置
- ・全有機炭素分析装置
- ・抵抗率計（マッピングシステム、粉体抵抗測定システム）
- ・蛍光X線分析装置



自動滴定装置



抵抗率計



自動試料燃焼装置（燃焼イオンクロマトグラフ）



粉体抵抗測定システム



マッピングシステム

【代表挨拶】

当社は旧三菱化成工業と旧三菱油化（現：三菱ケミカルグループ）にルーツを持つ分析機器・計測機器の会社です。

1970年代、カールフィッシャー水分計とその試薬の製造・販売を皮切りに、微量元素分析装置、燃焼イオンクロマトグラフィー用前処理装置、抵抗率計など高性能、高耐久な製品をいち早く世の中に提供してまいりました。

「分析計測技術を通じて地球環境を守り、豊かな社会づくりに貢献する」を企業理念とし、ますます深刻化する地球温暖化や大気汚染、水質汚濁や海洋プラスチック問題などの課題に対し、革新的な技術の開発に挑戦しつづけます。

2020年4月に京都府綾部市に本社を置く日東精工グループの一員となりました。今後も世の中の役に立つ製品を提供していくとともに、従業員一人ひとりが生き生きと働き、成長を実感できる会社を目指してまいります。



代表取締役社長 林 薫



ラボラトリー



日東精工アナリテック株式会社



（上）本社入口 （下）開発室

【会社概要】

商 号：日東精工アナリテック株式会社

英社名：Nittoseiko Analytech Co., Ltd.

代表取締役社長：林 薫

設 立：1979年（昭和54年）4月

資本金：3億3,500万円

従業員数：121名

所在地：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル

TEL：046-278-0036

FAX：046-278-0037

URL：<https://www.n-analytech.co.jp/>

【国内事業所・海外拠点】

国内事業所：本社、東日本営業所、中部営業所、大阪営業所
九州営業所

海外拠点：Nittoseiko Analytech Europe GmbH（ドイツ）